

【施策評価調査】

施策名	4-2-3	情報の森とちぎへの企業誘致		109	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ	109	施策目的 情報の森とちぎにおける未分譲地の解消・雇用機会の提供と、税収の向上・地域活性化
	担当部課	建設産業部産業課	担当 リーダー				
環境変化	平成19年度に、建築協定が10年経過するので、見直しの時期であったが、現状のまま更新された。 平成20年3月26日高根沢町経済懇話会が設立され、町の産業経済全体の活性化を図るための体制ができた。					施策内容 「情報の森とちぎ」への企業立地を促進するため、周辺地域の都市基盤を整備します。さらに、企業の進出を促す優遇措置について検討を行います。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）	

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：新規進出企業数(社)	未分譲区画への誘致促進 11区画	計画	1	2	1	1	1
		実績	0	0	0		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	20,000	40,000		
	決算	0	19,000	0		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
企業立地推進対策費	当初 40,000	企業誘致数 0社 / 1社	A	誘致企業は無かったが、経済懇話会の設立と、経済懇話会の事業を進める中で、行政と企業の信頼関係が構築されたことにより、会員企業による未分譲地の売買に繋がった。			
	決算 0			今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	総合評価	<p>経済懇話会の交流事業や情報交換会等を通じ、町と企業等の信頼が構築された。会員である誘致企業等と情報の共有化を図り、町の緊急課題であった未分譲地の購入に繋がった。</p> <p>「情報の森とちぎ」の分譲に目途がたったことを評価する。ただし、残った分譲地の販売に力を注ぐとともに、後期計画策定に向け、当施策のあり方を検討すること。</p>